

抱カシムルカ如キ事ヲナササルハ吾人ニトリテハ聯盟ニ對スル信義ノ問題ナレハナリ

佛國政府カ三國會議ヲ直接了知スル所アル様米國政府カ切望セラレシコトヲ多トシ佛國政府ハ軍縮及平和ニ對スル米國ノ努力ニ最大ノ同情ヲ表スルモノナリ佛國政府ハ懇切ナル招請ニ對シ其ノ態度ヲ今決定スルコトヲ得ハ幸ナルヘキモ現下ノ情勢ニ於テ佛國カ軍縮問題ニ關スル限ラレタル議題ノ會議ニ假令一人ト雖傍聽者ヲ參加セシムルヲ得ルヤノ決定ヲ遲延セサルヘカラサル理由ヲ米國政府カ了解セラレンコトヲ希望ス

## 第十、一九二七年五月十六日附駐伊米國大使宛伊國政府覺書

伊國政府ハ去ル三月十四日受領セシ「クローリッヂ」大統領覺書ニ對シ茲ニ回答スルノ光榮ヲ有ス伊國政府カ一九二二年ノ華盛頓條約ニ依リテ企圖セラレサリシ海軍々備制限會議參加方ニ關スル招請ヲ遺憾乍ラ拒絕スルノ止ムナキニ至リシ重大ナル理由ヲ合衆國政府カ充分了解セラレタルヲ欣快トス合衆國政府ハ三月十四日附公文ニ於テ伊國ノ態度及其ノ理由ヲ了解スルト共ニ間接ニ參加スル様次ノ如ク申越サレタリ即チ「合衆國政府ハ伊國政府カ商議ノ經過及締結セラルヘキ協定ヲ熟知センカ爲メ何等カノ方法ニヨリ該商議ニ代表者ヲ出スノ道ヲ講センコトヲ希望シテ止マス」

伊國政府ハ合衆國政府ノ厚意ヲ深謝シ且假令壽府會議ニ公式「傍聽者」ヲ列席セシメストスルモ其ノ商議ハ伊國政府及伊國輿論ニヨリ周密ナル注意ヲ以テ觀察セラルヘキコトヲ陳述セント欲ス

然レトモ伊國政府ハ商議ノ經過及論點ノ關係上直接ニ商議ヲ觀察スル必要ヲ生ス場合ニ於テハ一人又ハ數人ノ海軍専門家ヲ任命シ得ヘク此等ノ専門家ハ或種ノ點ニ付テハ會議ノ「傍聽者」トシテノ確固タル地位ヲ占ムルヤモ知レサルヘシ

## 第二編 會議參加各國全權一行氏名表

### 第一、亞米利加合衆國全權並隨員氏名表

全 權

白耳義駐劄特命全權大使

海軍軍令部幹部會長

海軍顧問

海軍軍令部附

海軍計畫部長

戰艦隊附航空母艦隊司令官

海軍情報部長

ヒュー、ギブソジ

ヒラリー、ビー、ジョーンズ

海軍少將

海軍少將

アンドリウ、テイー、ロング

同

フランク、エイチ、スコフィールド

海軍大佐

デエイ、エム、リーヴス

海軍大佐

アーサー、デエイ、ヘッバートン

同

アドルフ、エス、アンドリウズ

同

ダブリユ、ダブリユ、スミス

海軍少佐

ハロルド、シイ、トレイン

同

エイチ、エイチ、フロスト

同

アレン、ダブリユ、ダレス

法律顧問

國務省顧問

大使館一等書記官

デューヂ、エイ、ゴルドン

書記局

代表附書記官 大使館參事官  
領 事

文 書 課

國務省索引及記錄局長

フレデリック、アール、ドルベール  
エス、ビンクニー、タック  
デーヴィッド、ダブリュ、キング  
ヘクター、オコンナー  
デーヴィッド、エイ、サモン

第二、英本國、自治領及印度全權並隨員氏名表

英 本 國

全 權

海軍大臣下院議員  
ランカスター公領尙書  
海軍軍令部長代理  
海軍軍令部長臨時代理（フィールド病氣ノ際）

子 爵

海軍中將  
海軍少將  
ダブリュ、シイ、ブリヂマン  
セシル、オブ、チエルウッド  
サー、エフ、エル、フィールド  
エイ、デイ、ビー、アール、バウンド

海軍大佐  
海軍中佐  
ダブリュ、エイ、エヂヤートン  
ダブリュ、ダブリュ、ゴッドフレ  
アリクサンダー、フリン

連絡將校

海軍中將

航空省附連絡將校

海軍大佐

自治領省附連絡將校

代表附書記官

同

海軍大佐

法律顧問

新聞 係

フィールド中將秘書

主計大佐

海軍大臣秘書

セシル子爵秘書

同

會計官

加 奈 陀

全 權

司法大臣

國際聯盟附加奈陀顧問

海軍軍務部長

司法大臣秘書

濠 太 利

提 督

イー、ラボアント  
ダブリュ、エイ、リッデル  
ウォールター、ホース  
エル、ビー、ビカード

オーブリー、スミス

ダブリュ、エフ、マクニース

ダブリュ、シイ、ハンキンソン

アール、エイチ、キヤムベル

エイチ、アール、ムーア

ダブリュ、エル、ベックエット

デイ、エフ、スチュアート

エフ、エル、ホーセイ

テイ、フ ラ イ

イー、シイ、ヘンテイ

エヌ、バトラー（ヘンテイニ代リテ）

イー、ウイリアムズ

全 權

倫敦駐在高級委員

サー、デエイ、クック

海軍大佐

エイチ、デエイ、フイークス

陸軍少佐

ダブリュ、ヘンダースン博士

海軍少佐

オー、シイ、ダブリュ、フアーマン

新 西 蘭

全 權

倫敦駐在高級委員

サー、デエイムス、バール

海軍元帥伯爵

デエリコー、オブ、スカバ

海軍少將

エイ、エフ、ビール

高級委員秘書

シイ、ノールス

南阿聯邦側

倫敦駐在高級委員

デエイ、エス、スミット

歐洲駐在聯邦通商委員

シイ、ビーナール

スミット氏秘書

ホー マン

ビーナール氏秘書

デエイ、エフ、ホーキマ、コール

愛蘭自由國

外務大臣

ケイ、オヒッギンス

檢事總長

デエイ、エイ、コステロ

在壽府愛蘭自由國代表

エム、マクホワイ

外務書記官

デエイ、ビー、ウォルシ

印 度

全 權

ダブリュ、シイ、ブリヂマン

### 第三、日本國全權並隨員氏名表

全 權

朝鮮總督

海軍大將子爵

齋 藤 實

佛國駐劄特命全權大使

子爵

石 井 菊 次 郎

事務總長

全權公使、國際聯盟日本事務局長

佐 藤 尚 武

外務省側

外務省條約局長

佐 分 利 貞 男

書 記 局

大使館一等書記官

白 鳥 敏 夫

外務事務官

松 隈 昌 隆

大使館二等書記官

西 春 彦

大使館二等書記官  
外務書記官  
大使館三等書記官  
外交官補  
同  
海軍側  
海軍中將  
海軍少將  
海軍大佐  
同  
同  
海軍書記官  
海軍中佐  
同  
同  
海軍々醫中佐  
海軍主計中佐  
海軍造船中佐  
海軍機關少佐

米澤菊次  
山形清  
坂本瑞男  
工藤忠夫  
早間恒雄  
小林躋造  
原敢二郎  
堀悌吉  
豐田貞次郎  
古賀峯一  
榎本重治  
小林宗之助  
野村直邦  
佐藤市郎  
比企能之  
荒木彦弼  
藤本喜久雄  
柳原博光

海軍少佐  
海軍大尉  
新聞係

圓山英勅  
宮崎重敏  
佐分利貞男  
坂本瑞男

顧問

陸軍側

陸軍少將

陸軍大佐

大藏側

大藏書記官

齋藤全權附

賀屋興宣  
丸山鶴吉  
藤原喜藏  
小松高  
水野恭介

秘書

同

海軍少佐

第四、會議總書記局員氏名表

事務總長  
米國代表

ヒュー、アール、ウイルソン  
ヒュー、アール、ウイルソン

右代理  
英國代表  
右代理  
日本代表  
右代理  
國際聯盟事務局

フレデリク、ドルベール  
アール、エイチ、キヤムベル  
エイチ、アール、ムーア  
佐藤 尙武  
白鳥 敏夫  
ハワード、アール、ハストン

第五、佛國情報員

外務省國際聯盟局長全權公使  
國際聯盟常設諮問委員會補助海軍代表  
外務省國際聯盟局大使館書記官

伯爵  
クラウズエル  
ドルーズ  
ジャン、ボール、ボンクール

第六、伊國非公式傍聽者

海軍軍令部附  
國際聯盟常設諮問委員會海軍代表  
同 補助海軍代表

海軍大佐  
ドン、ファブリジオ、ルスボリ  
海軍中佐  
ドン、ウムベルト、クシア、デイ、  
サンタ、オルソラ

第三編 總會議々事錄

第一、第一回總會

（議長 ヒュー、ギブソン氏）  
一九二七年六月二十日（月曜日）開催

出席者  
米國側

ヒュー、ギブソン  
ヒラリー、ビー、ジョーンズ  
エイ、テイ、ロング  
エフ、エイチ、スコフィールド  
エイ、ダブリュ、ダレス

英國側  
英本國

子爵  
ダブリュ、シイ、ブリヂマン  
セシル、オブ、チエルウッド  
サー、エフ、フィールド  
ダブリュ、エイ、リッデル博士

加奈陀  
濠太利  
新西蘭

海軍中將  
サー、デュー、クック  
サー、デュー、バール